



私のいちおし本 「ライオンのおやつ」

著者 小川 糸 著



選者：銀河アリーナ図書室 司書 上野 千鶴

若くに余命を宣告された零は、残された日々を瀬戸内海の島にあるホスピス「ライオンの家」で過ごすことを決めます。

そこでは毎週日曜日に、入居者が生きている間にもう一度食べたいおやつをリクエストできる「おやつ時間」があります。ただ、零は自身が食べたいおやつを選べずにいました。それまで1人で生きてきた零は、穏やかな島の景色の中で温かい人々に囲まれ、本当にしたかったことを考えられるようになります。不安を感じる零にかけられた「思いっきり不幸を吸い込んで、吐く息を感謝に変えれば、あなたの人生は、やがて光りか輝くことでしょう。」という言葉が心に染みます。

「生きていることは、とても大切に、奇跡でありがたいこと。」あなたにとっての、ライオンのおやつは何ですか？

今月の新刊

【銀河アリーナ図書室】

{一般}

感謝離 ずっと一緒に

河崎 啓一 著

妻の遺品に「ありがとう」と頭を下げながら手放していった。「感謝離」という表現が頭をよぎった。世帯をもって62年、最愛の妻を亡くした著者が、自身と夫婦ふたりのこれまでと、妻の遺品との別れ方について綴る。



【文化センター図書室】

{一般}

いつでも母と

山口 恵以子 著

最愛の母が認知症に。やがて始まった介護と自宅での看取り…。いくつもの後悔と色褪せない幸せな思い出。いつでも二人三脚で生きてきた独身の娘と老い衰えていく母の軌跡を綴る。



{児童}

あたまとんとたたいたたら

中川 ひろたか 作

ザ・キャビンカンパニー 絵

頭をとんとたたいたたら、ハトが出た！ほっぺをとんとたたいたたら、ホットドッグ！じゃあ、胸をたたいたたら？おなかをたたいたたら？あんよをたたいたたら？どうなっちゃうのだろう？楽しい絵本です。



{児童}

おにいちゃんとさんかんび

くすのき しげり文 大島 紗子 絵

今日は幼稚園に通う妹の参観日。急用で両親が行けなくなってしまったため、シントロウが代わりに参観に行くことになりました。妹ががっかりしないよう、他のお父さんやお母さんよりも上手に折り紙を折ろうと頑張りますが…。



その他の新刊

{一般} 〈あの絵〉のまえで

原田 マハ 著

いつでも母と

山口 恵以子 著

{児童} たまごにいちゃんとげんちゃん

あきやま ただし 作・絵

もしものせかい

ヨシタケ シンスケ 作・絵

その他の新刊

{一般} 十字架のカルテ

知念 実希人 著

夜がどれほど暗くても

中山 七里 著

{児童} ちょしんぼこのたびやすみ

村上 しいこ さく 長谷川 義史 絵

まめざらちゃん

あさの ますみ 文 よしむら めぐ 絵